

か どう ぜ き か い ら ん ば ん 可動堰回覧板

平成24年8月1日号 (No.85)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回
覧

今号は可動堰改築に伴う右岸高水敷の工事進捗状況と6月23日（土）に行った一般開放についてお知らせします。

右岸高水敷 工事進捗状況

大河津可動堰の改築工事は、現在、右岸側の旧可動堰下流部で高水敷の造成工事等を進めています。

上流部の鋼矢板護岸部では、鋼矢板の打ち込みが完了し、現在、天端部の保護ブロックを設置しています。

また、新可動堰の右岸側の管理橋施工部については、橋脚の基礎工となる場所打ち杭の施工に着手しました。



護岸 天端保護ブロック

洪水による護岸天端の侵食を防止するために、連節型のコンクリートブロックを敷設しています。1個のコンクリートブロックは、大きさが2平方メートルで重さは約700kgです。敷設したコンクリートブロックの上には、土砂により覆土してやることで、植生が回復するよう配慮しています。



コンクリートブロック



ブロック敷設作業



ブロック敷設状況



覆土状況

橋脚基礎 場所打ち杭

地盤を円筒状に掘削した後に現場で組み立てた鉄筋を地盤の中に落とし込み、その後、コンクリートを流し込んで固めてやることで、基礎杭をつくります。

基礎杭は、直径が1.2m、長さが15.5～21.0mで橋脚4基で計35本を施工する予定です。



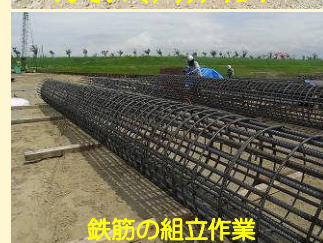
掘削の作業状況



掘削しながら地盤に押し込んでいくパイプ工法



掘削用機械（ハマーダブ）



鉄筋の組立作業

【Topics】工事現場から「鍋トロ」発見される



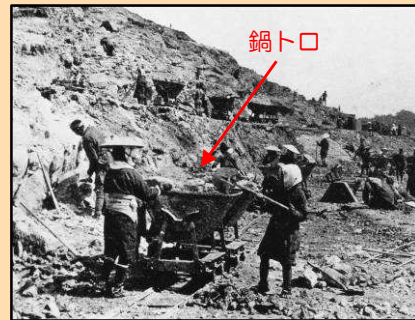
右岸の高水敷造成予定箇所の工事現場から、大河津分水工事で活躍した人力運搬車（通称「鍋トロ」0.3立法メートル積 鉄製）4台と移動のために敷設されていたレールが発見されました。大河津分水建設当時は、この「鍋トロ」を使って、大型機械が入らない場所で土砂や資材を人力で運搬していました。発見された「鍋トロ」等は、歴史的に貴重なため保存する予定です。



発見された「鍋トロ」



仮置き状況（旧可動堰右岸）



大河津分水 施工時の写真

大河津「旧可動堰」撤去工事現場の一般開放を行いました

6月23日（土）、旧可動堰撤去前の一般開放を行い、昭和6年の完成以来、越後平野を潤し洪水から守り続けた旧可動堰の最後の姿を1,500名を超える方が見学に訪れました。また、旧可動堰工事の様子や新可動堰のパネル展示会場では多くの方々が足を止め、担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。

【一般開放の様子】



新可動堰の通水前まで水が流れていた川底に入場いただきました。



旧可動堰管理橋はたくさんの方で賑わいました。



旧可動堰の脇に見晴台を設置しました。



旧可動堰を支えた基礎の木杭の一部を紹介しました。



約80年水の中だった堰柱を間近でご覧いただきました。



「新可動堰の管理橋も渡りたい」という声が聞かれました。



新可動堰の魚道を間近でご覧いただきました。



大河津資料館の4階展望室から新旧可動堰をご覧いただきました。

当日実施したアンケートには「可動堰ありがとう!」、「子供のころ、よく遊んだ思い出の場所」、「可動堰が無くなるのは残念」など旧可動堰の撤去を惜しむ声をたくさんいただきました。



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。
『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日 AM9:00~PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官（可動堰改築担当）: 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>